

# 法勝寺中学校だより

特別号 2023.10.13

生徒の学習状況の改善や、家庭教育との連携、教科指導の充実などに役立てるため全国の中学3年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本年度は国語・数学・英語の筆記試験と英語の「話すこと」の実技試験、生活の状況等についての調査がありました。その結果から、本校生徒の状況について特徴的な傾向を紹介し、今取り組んでいること、家庭と連携したいことを報告します。

## 法勝寺中学校生徒の「学力・生活の状況」

### 学力の状況

国語	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語文 化に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	全体
本校	65.7%	65.7%	79.1%	77.1%	64.7%	58.3%	68.0%
県	66.1%	62.7%	75.5%	80.6%	61.3%	62.3%	69.0%
全国	67.5%	63.4%	74.7%	82.2%	63.2%	63.7%	69.8%

数学	数と式	図形	関数	データの活用	全体
本校	59.6%	28.1%	54.9%	56.9%	52.0%
県	60.3%	30.2%	49.7%	50.5%	50.0%
全国	63.0%	33.2%	51.2%	48.5%	51.0%

英語	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと	全体
本校	56.0	47.3	7.2	11.1	25.2	44.0
県	54.7	46.8			19.5	42.0
全国	58.4	51.2	14.5	4.2	23.4	45.6

問題の傾向としては、実際に社会の中で「生きる力」を測る問題が多く出題されています。各教科共に問題数は少ないですが、内容を的確に読み取り出題者の意図をくみ取った上で、適切な用語を用いて表現する力を求める問題が出題されています。

令和5年度

全国学力・学習状況調査結果

※R5.4.18に全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施したものです。

## 国語部会より

「書くこと」の領域は全国平均と同程度、「話すこと・聞くこと」は5.1ポイント、「読むこと」は5.4ポイント下回りました。また、「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均を4.4ポイント上回りました。

本校の特徴として、全体としては無回答（白紙解答）の割合は全国平均と比べ少なく、記述問題などの難しい問題にも対応できている傾向がみられました。今回の問題は、インタビューやネットの記事の読み取りや気づきを問う問題、現代語の「竹取物語」を古典と比較する問題、レポートの下書きの推敲など、実際の生活や仕事の場面に関連した問題が多く出題されました。また、下図の資料のように、1問の設問の中に、記事の読み、メモの目的や意図、インタビューの様子からの設問など、単なる言葉の暗記では対応できない問題が増えています。国語や総合の時間、学校行事等での実際の授業や活動場面を重視して、積極的に言語活動（調べ学習、プレゼン発表、話し合い活動など）に取り組む生徒が、これからの学力向上のカギではないかと考察しました。

全国平均と比べ、正答率の低い問題は、3問ありました。

- ① インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選ぶ問題（下図）  
（本校 78.4%，全国 87.5%）
- ② それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する問題  
（本校 66.7%，全国 74.2%）
- ③ 二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する問題  
（本校 51.0%，全国 63.0%）

- 1 由さんの「インタビューの前に準備したメモ」について説明したものと、最も適切なものを、次の1から4までのの中から1つ選びなさい。
  - 1 インタビューの目的に沿った質問をするためには、知りたいことを整理している。
  - 2 質問の内容を相手に明確に伝えるために、「見直しや話し方を確認している。
  - 3 見直しをもって準備をためるために、質問に答える相手の答えを予想している。
  - 4 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を提出している。
- 二 由さんが「インタビューの前に準備したメモ」に「読者の「安全だけ」でなく、デザイン性や利便性も大事にした」と考えているのはどうしてか。この文には、「インタビューの読者」のどのような態度に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 事例は示されていないが、星野さんの考えとは内容を添っている点。
  - 2 事例は示されていないが、星野さんの考えが書かれていない点。
  - 3 星野さんの考えは小さいが、その理由が書かれていない点。
  - 4 星野さんの考えと理由は示されていないが、理由として十分である点。

1 由さんは、視覚的な要素の時間、「社会で働く上で大切なこと」をテーマに「インタビュー」の読者に向けていた。由さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に感銘を受け、会社を訪問して星野さんにインタビューをした。次の「インタビューの読者」の「インタビューの読者」の「インタビュー」を念頭に、あとの問いに答えてください。

【星野さんの記事】

**製品開発にける思い**

電化製品を開発するに当たって、最も大事にしているのは、安全性です。お子様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使用できる製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。

現在、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、後うだけ時間やお湯を沸かせるのが特徴で、お茶の製品の中でも好評をいただいているものの一つです。安全性を最優先、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいことですが、よりよい製品をお届けできるように努力を続けています。

【インタビューの目的】

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にします。

【インタビューを通して知りたいこと】

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えているのはどうしてか。
- ・「安全性を最優先、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思っか。

【インタビューの前に準備したメモ】

## 数学部会より

全体の平均正答率は全国平均正答率よりも1.0ポイント高くなっています。各領域を見ると「関数」と「データの活用」が全国値を上回っています。特に「データの活用」は8.4ポイントも上回っており、よく理解できている傾向が見られます。また、「思考・判断・表現」、「記述式」に関わる問題の正答率が全国と比べて高くなっており、生徒たちが着実に力をつけてきている様子がうかがえます。

「数と式」と「図形」の2つの領域がわずかですが全国値と比較してやや低くなっていました。問題概要としては「選択肢の中から自然数であるものをすべて選ぶ」、「空間における平面がただ一つに決まる条件について選ぶ」問題で正答率が低かったです。基本的な知識・技能に関わる問題の学び直しをしていくとよいと考えられます。また、出題の趣旨として「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」や「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」といった問題の正答率が低い傾向が見受けられました。こちらの出題例は下の通りです。

6 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。



夏希さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が1、4、-5のときは、それぞれどのような計算になります。

計算の例

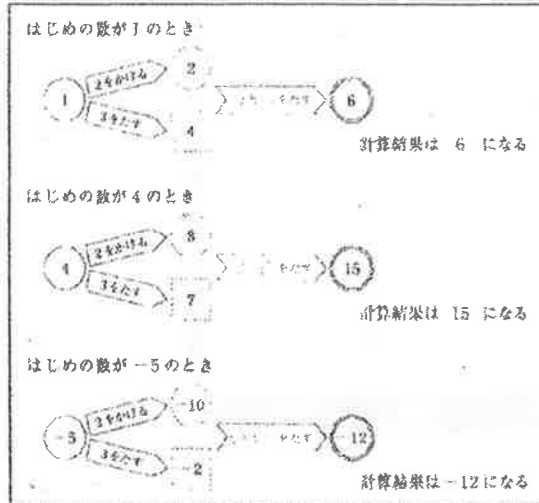
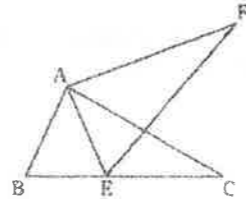


図8



展奈さんは、図8でBC//AFとならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。

図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないため、BC//AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

「二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の **I** が成り立たないから、**II** が成り立たない。よって、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないから、BC//AFとならない。

上の **I** には証明1の①、②、③のどれか1つが、**II** には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。**I**、**II** に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

## 英語部会より

「聞くこと」

英文を聞いて4枚の絵の中から適切なものを選ぶ問題で正答率が低い一方で、英文を聞いて、質問に対する適切な答えの英文を選んだり、英文の中から一番大切なことを選ぶ問題では、全国より10ポイント近く上回っています。「読むこと」の中では、下の問題⑤のグラフから選ぶ問題の苦手が浮き彫りになりました。また、長文問題が2つありましたが、1つでは全国平均とほぼ同等の正答率でしたが、もう1つは7~9ポイント下回っています。

「話すこと(やりとり)」

動物園でのやりとりで留学生の質問を受け手の誕生日を答える問題と、留学生の質問を受け手の予定を伝える問題では大きな有意差はありませんでしたが、カンガルーが食べるものについて質問する問題では、正答率がかなり低かったです。「What food do they eat?」を答える問題では、無回答率が全体の3割と全国の2割に比べて多い状況でした。授業の中で扱った相手の意見を聞いてそれに対する自分の意見を述べる問題では、全国の平均正答率より大きく上回っていました。

「話すこと(発表)」

環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題では、全国の4.2%に対して、11.1と大きくリードすることができています。

「書くこと」

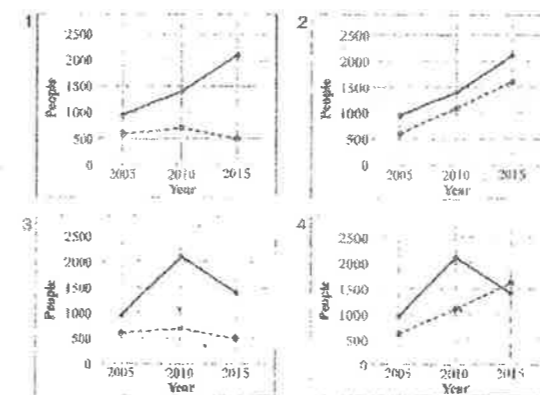
自分の考えを書かせる問題や会話が成り立つように空所を補充する問題⑨では全国平均を8~10ポイント上回っていました。また、この問題に繋がる「1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか」という生徒質問紙の質問に対する肯定的評価が92.0%と全国平均82.8%を大きく上回っていました。ただ、メールの英文を依頼する文の形に直す問題では7ポイント下回りました。これにより、似たような問題や活動を経験したことがあるかどうかで有意差が出ていることが分かりました。

以上の結果から過去に練習してきたタイプの問題にはしっかり対応することができています。今後多くの種類の問題に当たる事と、授業で練習した英文を繰り返し口に出して練習していくことが大切になってくると考えます。

⑤

(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.



⑨

(1) 次の(1)~(5)について、例を参考にしながら、必要があれば( )内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ文が成り立つように英文を完成させなさい。

例: <友達同士の会話>

A: I called you at eight last night.

B: Oh, sorry. I ( ) do ( ) my homework then.

( ) was doing

(2) <先生と生徒の会話>

A: Do you have any plans for summer vacation?

B: Yes, I ( ) visit ( ) my uncle in London. I can't wait!

A: Wow, that's nice!

(3) <友達同士の会話>

A: Oh, you have a new watch!

B: Yes, I got it yesterday.

A: ( ) buy ( ) the watch?

B: At a department store near the station.

# 生活の状況

良好と思われる質問事項		肯定的な回答%			
		本校 3年	鳥取県	全国	全国と の比較
関主 する 生活 と	(1) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	20.0	13.4	7.0	+13.0
	(2) 今住んでいる地域の行事に参加していますか	50.0	46.6	38.0	+12.0
	(3) 新聞を読んでいますか	16.0	11.6	8.1	+7.9
	(4) 友達関係に満足していますか	94.0	89.9	88.7	+5.3
	(5) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	72.0	66.6	66.8	+5.2
	(6) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.0	92.8	91.3	+4.7
主 に 学 習 に 関 する こと	(1) 数学の勉強は好きですか	68.0	56.6	56.7	+11.3
	(2) 国語の勉強は好きですか	68.0	65.0	61.4	+6.6
	(3) 英語の授業の内容はよく分かりますか	66.0	62.4	63.9	+2.1
	(4) 学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか	6.0	5.5	5.0	+1.0
	(5) 学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか	94.0	94.7	93.3	+0.7

全国（県）平均より低い質問事項		肯定的な回答%			
		本校 3年	鳥取県	全国	全国と の比較
関主 する 生活 と	(1) 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	74.0	90.0	87.3	-13.3
	(2) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	54.0	69.6	66.4	-12.4
	(3) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	52.0	68.1	63.9	-11.9
	(4) 自分にはよいところがあると思いますか	70.0	80.5	80.0	-10.0
	(5) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか	68.0	83.1	77.9	-9.9
主 に 学 習 に 関 する こと	(1) 1・2年生のときに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	32.0	76.2	61.1	-29.1
	(2) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間等も含む）	20.0	27.1	33.7	-13.7
	(3) 1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や話の組み立てなどを工夫して発表していますか	52.0	58.1	62.1	-10.1
	(4) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	70.0	82.6	79.7	-9.7
	(5) 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	60.0	70.7	69.2	-9.2

## 質問紙の結果から見えてくること

### 【生活について】

- 起きる時間が決まっているという回答が多く、比較的規則的な生活ができていると言えます。
- 学校図書館や地域の図書館を利用している生徒が多いことがわかります。
- 地域の行事に多くの生徒が参加しており、地域との良好な関係がうかがえます。
- 県や全国と比較して、新聞を読む生徒が多いことがわかります。
- 友達関係に満足している生徒が多いことがわかります。
- 県や全国と比較して、自己肯定感を持っている生徒が少ないことがわかります。
- 教員からの承認感が県や全国と比較して低いことがわかります。

### 【学習について】

- 国語、数学、英語とも多くの生徒は学習の大切さをよく理解しており、勉強が好きという生徒が多いです。しかし、学力状況の分析を見ると、国語と英語の正答率が全国よりやや低いことがわかります。授業は理解できているが、学習内容が定着していない生徒が多いと考えられます。
- 学習を計画的に進めることができる生徒が県や全国と比較して少ないようです。家庭学習が少ない傾向が見られます。1日あたり1時間未満の生徒が全国平均33.9%に対し、本校で48.0%です。家庭での予習・復習が少ないことがわかります。
- 学習したことの復習をして、次の学習につなげることができている生徒が県や全国と比較して少ないことがわかりました。

### 【これから取り組んでほしいこと】

- 計画的に家庭学習(予習・復習)に取り組みましょう。
- テストへの取り組みを通して、家庭学習の習慣を身につけ、テスト後は、なぜ間違えたのか、この問題は何を知らないとできなかったのかなど、復習に力を入れましょう。
- 友達に説明できると理解力がUPします。授業中の学び合いの時間、その前の一人学びの時間を大切にしましょう。

## 今後に向けて

- 将来の目標を持ち、学ぶことの意義や必要性、楽しさを感じられると、取り組む姿勢もさらに向上し、学力も伸びると考えます。学習指導とともに、キャリア教育も充実させ、一人ひとりが将来を見据えた学校生活を送れるよう、丁寧な指導を心がけていきたいと考えます。また、生徒一人ひとりの良さ・頑張り認め、褒め励ます指導を継続していきます。
- 保護者の方、地域の方との適切な関係が保たれていることが推測できる結果でした。今後も学校、地域、保護者が一体となって子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。